

平成 19 年大学院前期博士課程 2 次試験：課題論文問題

以下の 8 題から、任意の 2 題を選び、それぞれ 800 字～ 1200 字程度で解答しなさい。

1. 「科学の制度化」の意味について説明してください。
2. 科学技術コミュニケーションにおいてしばしば用いられる用語「欠如モデル」について、
 - 1) その意味を簡単に説明してください。
 - 2) それには、どのような問題があると言われているのでしょうか。
3. ギャレット・ハーディンの「共有地の悲劇」論とはどのようなものか述べなさい。
また、その議論が環境問題において具体的に示唆する内容を（あれば反対意見も）述べなさい。
4. ヘンペル、オープンハイムによって提唱された、科学的説明に関する「I-S モデル」とはどのようなモデルを指すか。また、このモデルの難点はどのようなものか。それぞれ答えなさい。
5. 『ヒグマ学入門』の①「ねらい」と、②その「ねらい」に関わって、その第 1 章のもつ意義を述べなさい。
6. 博物館評価における「来館者数」の捉え方の課題について述べなさい。
7. 堀 哲夫の「理科教育学とは何か」では、
 - 1) メタ認知をどのような観点から述べているか述べなさい。
 - 2) 教育現場で、メタ認知能力を育成するには、あなたはどのような指導が必要と思いますか。1) の内容と関連させながら述べなさい。
8. 科学革命および産業革命において大学の果たした役割を述べなさい。また、大学と産業界が結びつくようになった経緯を述べなさい。